

MINICON FOR DIESEL ENGINE

RESPONSE UP & FILLING UP

この度は弊社製品<MINICON>をお買い上げ頂き、まことにありがとうございます。MINICONは、車両圧力センサーの信号を最適に制御することにより、エンジンレス・エンジンフィーリングを向上させることを目的としたミニサブコンピューター(ミニコン/MINICON)です。

本製品を安全にご使用して頂く為に、装着ならびご使用前に必ず本説明書を読んで、内容を十分に理解のうえ取り付け作業をおこなって下さい。

警告 死傷につながる恐れがある事故を未然に防ぐ為の事項を示してあります。

- 運転者は、走行中に本製品を操作しないで下さい。運転操作の妨げになり、事故の原因となります。
- 本体は運転の妨げにならない場所へ固定して下さい。
- 本製品は圧力センサー信号制御を目的に製作されています。配線の接続及び、使用方法を間違えると車両の不調・破損・事故をきたす 場合が考えられますので十分慎重に取り扱い下さい。なお何かの原因で車両の不調・事故が発生しても当社では一切の責任を負えませんのでご了承下さい。

注意 負傷または、車両や商品の損傷を未然に防ぐ為の事項を示してあります。

- 取り付け作業はエンジンを停止させ、専用設備をもった安全な場所でおこなって下さい。必ず専門の業者に依頼して下さい。
- 本製品およびハーネスを高温部もしくは水のかかる場所に設置することは絶対にさけて下さい。また製品を落下させたり、衝撃を与えたりすると故障の原因になります
- 製品を分解もしくは改造して使用した場合、当社では一切責任を負うことが出来ません。
- 電子制御に関わる部分です。接続位置、接触不良が無いように慎重に作業をおこなって下さい。
- 配線を直す時には可動部分は避けて取り付けして下さい。巻き込まれたり引っ張られたりしてハーネスが断線しないように注意して下さい。

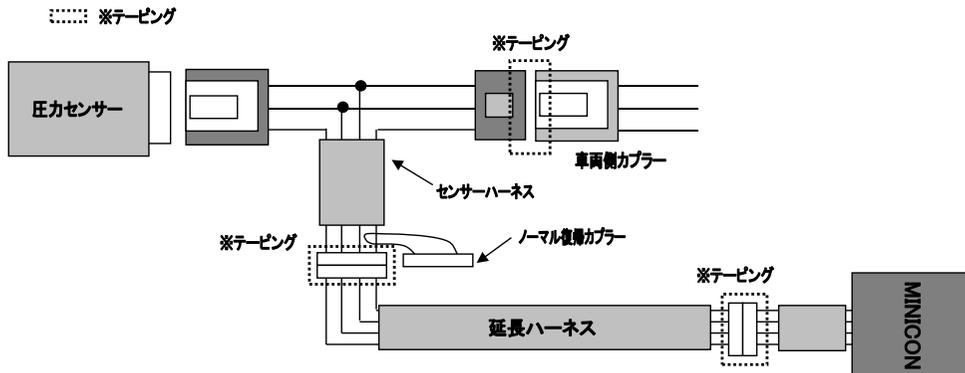
【MINICONの機能と特徴】

- MINICONの独自回路により、ECUへのアクセス状態を変化させ、エンジンレスポンス、フィーリングの向上が可能です。
- 車両のセンサーへ簡単に装着できます。
- 本体横のスイッチを切り替えることにより、3つのモードを楽しめます。

【MINICONの取り付け作業の注意】

- 取り付け作業は**エンジンキーを抜いてから約1分以上経過**してからおこなって下さい。
→完全に車両電源がシャットダウンしないうちに作業をおこなった場合、エンジンチェックが点灯してしまいます。
- 取り付け作業は**バッテリーをはずさず**におこなって下さい。
→ECUの学習がリセットされ、エンジン不調他の症状が発生する可能性があります。
- 本体の取り付けは高温、水のかかりやすい場所を避け、取り付け向きに注意して固定して下さい。

接続図



【取り付け方法】

①センサーハーネスの取り付け

- 燃料ラインに付いている燃圧センサーへMINICONのセンサーハーネスを割り込み接続させます。

C5F

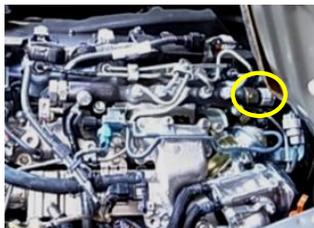
ニッサンキャラバン NV350



- 助手席のシートを上げ、エンジンルームにて作業出来るよう留意して下さい。
- 運転席側のシートをはずして下さい(φ 14mmネジ×4本ははずす)
- マットをめくり、スチール製のエンジンフードカバーをはずして下さい(φ 12mmネジ×9本をはずすと脱着できます)
- エンジンルーム内の圧力センサーを確認して下さい。
* 3極コナラー左画像参照
- コナラーを抜き、センサーハーネスを割り込み接続して下さい。センサーハーネスに延長ハーネスを接続し、配線を車内に引き回して下さい。この時にハーネスがハッチに挟まれますが、ダメージの無いように処理して下さい。

C6F・G7F

トヨタハイエース 2型・4型



- 助手席のシートを上げ、エンジンルームにて作業出来るよう留意して下さい。
- エンジンルーム内の圧力センサーを確認して下さい。
* 6極コナラー左画像参照
- コナラーを抜き、センサーハーネスを割り込み接続して下さい。センサーハーネスに延長ハーネスを接続し、配線を車内に引き回して下さい。この時にハーネスがハッチに挟まれますが、ダメージの無いように処理して下さい。

重要: センサーハーネスはエンジンルーム内で使用する為、長期間使用された場合ハーネスが劣化し接触不良を起こす可能性があります。
～1年半程度にて交換することを推奨致します。

②本体への装着、固定

- センサーハーネスの4極カプラーにMINICONの4極カプラーを確実に挿入させ、ビニールテープにてテーピングして下さい。
 - * 4極カプラーは非防水の為

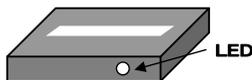
注意: ● MINICON本体を両面テープにより確実に固定して下さい。

- * エキゾースト付近や、直接エンジン上に固定するのは絶対に避けて下さい。
- * 配線はファンベルト等に干渉しないようし、点火系、インジェクター系、アンプ系、HID等のノイズが発生しやすい配線の近くは絶対に避けて下さい。誤作動する危険があります。

【作動確認方法】

確認作業は安全な場所でおこなって下さい。

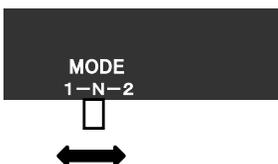
本体が正常に働いているかMINICON本体横のLEDの状態とエンジンの吹け上がりにて確認して下さい。



- ① イグニッションキーをONにするとLEDは点灯します。
- ② エンジンを始動させて下さい。
- ③ エンジンチェックランプ等の警告灯が点灯せず、エンジンが正常に吹け上がればOKです。

【設定方法】

- MINICONは本体横の切り替えスイッチにより下記の3モードの設定が出来ます。走行条件等を考慮し、最適のモードに設定して下さい。
- 本体品番により内容が異なります。

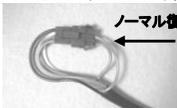


MODE	内容 (G5F)
1	低速域～高速域まで全域にわたりレスポンスUPを狙ったモードです。
N	ノーマルセッティングです。
2	フィーリングUP+燃費を両立させたモードです。

- 注意:**
- 他メーカーのサブコンとの組み合わせは出来ません。
 - 必ずMINICON単体にて使用して下さい。

【ノーマル復帰方法】

- 万が一、エンジン不調等の症状やエンジンチェックランプが点灯する場合は、下記の要領にてノーマル状態へ戻して走行して下さい。



ノーマル復帰カプラー

- 1) センサーハーネスの4極カプラーより、MINICONの4極カプラーを抜き、センサーハーネス側へノーマル復帰カプラーを差しなおして下さい。

ノーマル復帰しても不調の状態が直らない時は？

- センサーハーネスをセンサーより抜き、完全にノーマル状態に戻して下さい。
- 完全にノーマル状態にしても直らない場合、MINICONの制御とは関係の無い部分の原因が考えられます。

【トラブルチェック】

警告 走行中などでエンジンチェックランプが点灯しエマージェンシーモードに入り、エンジンが吹けあがらない状態になった場合は、車両を安全な場所へ移動し一旦停車させ、エンジンを停止し1～2分後にMINICONをノーマル状態にして再始動させて下さい。

<アイドル不調>

- ハーネスの挿入方向、接触等を再確認して下さい。
- 取り付け作業時にバッテリーをはずしてしまうとアイドル学習が必要です。カーディーラー等にて確認して下さい。

<エンジンチェックランプ点灯、吹けあがらない>

- ハーネス、カプラーの接触を再確認して下さい。

<点灯したチェックランプを消す方法>

- 正常な状態で、<エンジン始動>⇔<1分間エンジン停止>を3～5回繰り返して下さい。ECUが正常と判断し、エンジンチェックが消えます。
- 何度やってもエンジンチェックが消灯しない時は、カーディーラー等の専用機器のある工場にてエンジンチェックランプを消してもらって下さい。